

# SALVADOR

小井沼眞樹子宣教師と共に歩む会会報

代 表：松本敏之、大倉一郎  
 事務局：横浜港南台教会 中沢 謙  
 〒234-0054 横浜市港南区港南台 7-8-29  
 Tel. 045-833-5323 Fax. 045-833-6616  
 郵便振替口座番号：00210 - 2 - 97571

## 助け合い分かち合う共同体を

小井沼眞樹子

明けましておめでとうございます！

コロナ禍の第2波、第3波の襲来で不安が募るなか、とにかくいのちが守られて新年を迎えられたことは感謝に堪えません。毎朝、新しくいのちを与えられたことを神さまに感謝し、多くの方たちのお祈りによって支えられていることを覚えて、ここから感謝しています。

### ★祈る生活

一日の初めに、まず窓を開けて大空と海を見渡し、夥しいいのちが刻々と失われていく世界を思いながら、世界を包む祈り Pai Nosso (主の祈り) を祈っています。イエスさまの十字架上の傷跡一両手と両足、そして脇腹一を黙想するという意味で5回祈ります。



雨上がりのある朝、窓を開けると美しい虹が！

その後、日課の聖書を読み、こころに掛かっている人々を覚えて日本語でお祈りします。

とにかく、この地にいても今は何も仕事ができません。自分自身の寂しさに囚われると日常生活がふしだらになり、情けない思いを味わうこととなります。そこで宣教師の証として「祈り人」になろうと心に決めたのです。昼にも就寝する前にも Pai Nosso を繰り返し祈ります。祈るなかで、ときとして神の思い、慈しみがこころにしみ込んでくるような心持ちが…人との距離が開いた分、神さまとの距離は近くなったようです。「神は最後に一番よい仕事を残してくださる。それは祈りだ」(H・ホイヴェルス神父の「最上のわざ」より)

また、聖書を新しい翻訳版で読んでいるせいでもあるのですが、このパンデミックのなかで聖書の民の苦境をより深く想像させられて、今までとは違う言葉の味わいを覚えています。



バーハ海岸、この美しい景色に癒されながら歩く。

最小限の必要によって外出すれば、毎日示される死者の数ほどこのことかと思えるほど、雄大な空と海、花が咲き、鳥がさえずる美しい自然に出会います。行き交う人たちが皆マスクをかけているので現実に引き戻され、帰宅すると靴を消毒し、衣服を取り換え、手洗いを入念にするのはごく当たり前の習慣になりました。路上で、用意していたお弁当を誰かに渡せた日には、「ああ良かった！」と喜びに満たされます。

このように、コロナ禍のなかで誰とも会えず、言葉も交わさない日々ですが、感謝しながらつつがなく過ごしています。



アカシア(別名「金色の雨」とハイビスカスの花

## ★ヴァレリオ・シルバ合同長老教会の近況

コロナ感染拡大が深刻になり始めて以来、昨年3月末から一度も会堂で礼拝を捧げることができず9ヶ月が過ぎました。テクノロジーに長けた人も設備もないので、他教会のようなオンライン礼拝も望めません。礼拝は月に一度サルバドール教区のオンライン合同礼拝がYouTubeで配信されるので、それに参加しています。

けれども、スマホを駆使して、WhatsApp(ワッツアップ:LINEと同じようなSNS)のビデオ通話によって毎週祈禱会を持っています。画面で顔を見ながら1週間のお互いの生活を分かち合い、祈りの課題を挙げて熱心に祈りを捧げています。また、日本の多くの人々の協力に感謝し、祝福を祈っています。私自身はたどたどしくシンプルなお祈りしかできませんが、皆の祈る言葉を聴いてとても心満たされるひと時です。祈り合うなかで、互いに絆が強まっていることを実感しています。



ヴァレリオ教会のメンバーにはまだ一人も感染者は出ていませんが、身内が亡くなって嘆き悲しむ人が出てきて、死亡者の数字は決して無機質な数ではないこと、愛する人のいのちが失われ、それを悲しむ人々の涙があるということを深く心に留めながら祈っています。

12月20日には、例年のようなクリスマス礼拝や祝会は何もできませんでしたが、ペシリオ牧師と一緒に地域を訪問して、パンデミック前に実施したプログラムに参加した8名の子どもたちにプレゼントを渡すことができました。

パックの中味をみたとたん、子どもたちの満面に笑顔の花が咲き、こちら胸がいっぱいになりました。



乏しい生活の中で生きている子どもたちにとって、プレゼントがどんなに嬉しかったことか！長い活動停止が続くなかで、子どもたちに御子イエスのお誕生の喜びと希望を手渡すことができたように感じ、私たちも感謝と喜びに満たされて帰路に着いたのでした。

パックの中味:

ボンボン、バネトーネ(クリスマス特有のパンケーキ)、サッカーボール(男子)、リュックサック(女子)、歯ブラシ、歯磨きクリーム、石鹸、マスク、鉛筆、ノート



## 会堂建築はここまで進んできました！



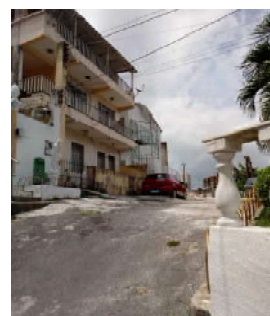
2階の内装部分まで完了。



新会堂と旧会堂を接続。



下から見ると急勾配だが。



横道から新会堂に行ける。

**【外国送金】**9月に建築資金がなくなり、日本の口座に保存中の献金をブラジルへ送金しました。本来、本人でないといけないところ、息子を介して何とか送金できたものの、ブラジルでドルからリアルに換金するのにひと苦勞。事務局の中沢牧師の協力で必要書類を整え、無事に入金できました。

**献金額:122,000レイス(=245万円)**しかし、すでに12月に資金切れ。完成までもう一息です。たぶん100年に1度のこの貧困地区での「神の国」建設プロジェクトに、どうぞご協力を！

## ★ブラジル社会のなかで考える

身動きが取れない状態にあって、社会との接点は主に Facebook や YouTube によって得ています。最新のニュースが動画や映像付きで日々入ってきますが、重要だと思われる出来事や特別企画、講演会などを選んで見ます。

特に、アマゾン火災に続いて、昨年来パンタナル（多様な生物の棲む大湿原）にも火災が発生し、收拾がつかなくなっている事態に胸を痛めています。かの地には、かつて駐在員時代に家族で2回も旅行し、豊かな自然、動植物、魚、鳥類の生息に触れました。もう一度、孫たちと行きたいと思っていただけに、無垢の生き物たちの悲惨な映像に涙を禁じえません。



その火災は自然発火ではなく、少なくとも5つの大農場が家畜の牧草栽培のために火を放ったのが、折からの乾季で收拾がつかなくなったとのこと。

また、環境問題に早くから危機を感じて警告を発し続けている解放の神学者レオナルド・ボフのインタビューやイベントでの発言に、強く惹きつけられています。「森の番人」と言われている先住民族の特に女性たちの提言にも、多くを教えられ、心惹かれるものがあります。



生物多様性はパンデミックを制する最良の薬だ

このように、間接的ではありますが、ブラジルの大地に響いている民衆や生物の叫びやうめきに接するなかで、次のメッセージがうまれました。

## 「新しい共同体を造る契機として」

コロナ発生以前から、アマゾンの森林火災は深刻な事態となり世界中の人々の憂慮の的となっていた。先住民族保護地区は憲法で守られていたが、現政府が違法な経済開発政策を押し進め、不法侵入者によって森の番人である先住民族のリーダーが何人も殺されている。さらにコロナ禍に乗じて、大規模農業や鉱山企業が火災や伐採を続けており、4月には過去10年間で最も焼失面積が大きかったと報じられた。そして今や、病原菌に弱い先住民族の間で感染が急速に拡大している。

ここ数年の間になぜ次々に新しいウイルスが発生するのか。それは、多様な生物群の生息環境が失われてウイルスが行き場を失い人間を襲うのだ、と科学者は指摘する。ウイルスの蔓延と気候変動は、地球が「もうもたない！」と悲鳴をあげている様相を呈しているのだ。2050年には壊滅的状况に達すると警鐘を鳴らす。

新型コロナウイルスの収束のメドが立たない現在、当面は直面する現実問題への対策で追われているが、私たちはもっと根本的な問題を見据える必要があるのではないか。これまで世界を支配してきた際限のない利潤追求、貧富の格差を拡大させ、弱者のいのちを踏みつけにする政治経済、拝金主義、他者の苦しみに無関心の文化は、このコロナ蔓延下で行き詰まってきたのだ。「コロナ禍は大企業や富豪に鉄槌を食らわせ、人類に新しい共同体を造る契機を与えてくれた」とL.ボフは語る。平等で助け合い分かち合う共同体の形成に大きく方向転換すべきときだ。それこそ聖書の根本メッセージであり、主イエスの「神の国」の福音そのものである。奴隷状態から「解放する神」は民の叫びを聴いて必ず歴史に介入してください。イエスは死の墓から復活された。私たちは、この困難の中でもう一度しっかり信仰に立ち返り、希望をもって祈り求め、置かれた場でいのちを愛する神のみこころを実践するよう召し出されている。

(2020年9月、新潟教区世界宣教委員会ニュースレターに掲載)



アマゾンの州都マナウスの墓地



「死の痛み」に寄り添う沈黙」運動

小井沼眞樹子宣教師と共に歩む会会計報告

2020.7.1～2021.1.4

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
会費・特別献金	省 略	支援金	省 略
利息		事務費	
		振込手数料	
小 計		小 計	
前月より繰越		次月へ繰越	
合 計		合 計	

収 入		支 出	
項 目	金 額	項 目	金 額
会堂建築献金	省 略	支援金	省 略
		振込手数料	
小 計		小 計	
前月繰越金		次月へ繰越	
合 計		合 計	

年会費・特別献金者名（敬称略・順不同）

2020.7.1～2021.1.4

省 略（40名）

会堂建築献金

省 略（29名）